

茶祖堂

当初は「利休堂」と呼ばれていましたが、1887年頃に高官の別荘から岡山後楽園に移築されました。茶室の名前のもとになった千利休（1522～1591年）とは、日本の茶文化や伝統に大きな影響を与えた人物です。この建物は第二次世界大戦中に破壊され、1961年に再建されました。この茶室は千利休に加えて、中国から日本に茶の種をもたらしたと信じられている岡山出身の僧侶、栄西（えいさいあるいはようさいとして知られる、1141～1215年）に捧げられています。この茶室は、茶の湯の集まりのために借りることができます。